



学校だより

後 川

No. 4

令和3年6月23日(水)発行
四万十市立後川中学校

協力し合ってよいよい学校づくり!!

先月の生徒総会を受け、『自分たちの学校をよりよくするために』の活動が学校生活のいろいろな場面で活性化されています。6月に入り、部活動終了後に全員が校庭の草引きに取り組んでいます。広い校庭にある小さな草も丁寧に黙々と引き、自分たちが使用する校庭の整備にしっかりと取り組んでいます。



「図書室の利用と朝読書の時間の充実」をめざして、全生徒が図書室に集合して朝読書をするようになりました。読んでいるとき、リラックスして集中できるよう「癒しの音楽」をかけようというアイデアも生徒たちから出されました。全校生徒がチャイムとともに図書室に集合し、思い思いの席で、静かな音楽が流れるなか、自分の好きな本に集中しています。ゆったりと心が落ち着き、よい1日の始まりとなっています。

本校の生徒たちは、どの授業にも真面目に集中して取り組んでいます。学習・生活部から『自主学习ノートの交流を行い、友だちの学習方内容・方法のよいところを参考にしよう』と提案がありました。自主学习ノートをみんなで見せ合うコーナーを設け、それぞれが参考にしています。1学期の学習のまとめにも活用し、期末試験にも計画的に取り組んでいきましょう。



誇らしい学習への取組、マナーのすばらしさ



6月10、17日と県教委の学校訪問の機会がありました。全学年の授業を参観していただきました。授業に取り組む姿勢のすばらしさ、生徒同士でのやり取りの場面、ノートの取り方などとてもほめてくださいました。また、地域の方から、学校前の信号で停車したとき、横断歩道を渡り終えた生徒から、丁寧なおじぎがあり、感動したとの嬉しいお手紙をいただきました。生徒全員でよりよい学校づくりをめざし、アイデアを出し合いながら、何事にも真

剣に丁寧に取り組むことがどんどん嬉しいことにつながっています。

【裏面もご覧ください。】

「地域への感謝」ライトアップの取組

本校の夏の恒例行事「ライトアップ」の準備に生徒たちは取り組んでいます。今年は7月10日(土)に実施予定です。昨年度に引き続き「地域の皆様への感謝」をテーマとして、地域に元気・笑顔・喜びを昨年度に増してお伝えしようと張り切っています。

生徒からの提案で、今回は「本格的な花火の打ち上げ」を計画し、3年生が中心となり、花火の専門業者と連絡を取りながら計画を進めています。

保護者の皆様に今年も準備や消毒等へのご協力など大変お世話をおかけしますがどうぞよろしくお願いいたします。



高知新聞特派員だより～掲載おめでとう～

6月11日(金)、高知新聞特派員だよりに1年生田邊 岬さんの記事が掲載されました。掲載おめでとうございます。

良い空気をつくる

★四万十市・後川中★

私は、この一年間を1年生として先ばいたちに新しい風を吹かせられる「せん風機」のような存在になりたいと思います。

私の通っている学校の先ばいたちは、自分からグイグイ行くタイプの人たちではありません。全員が一步、後ろについて見守ってくれるような優しい先ばいです。

2021年度限りで閉校になるので、今年がさまざまな行事が最後となります。そこで、思い出に残る一年にするために、全校でたくさん意見を出し、行事などを成功させたいです。そのために私は先ばいたちがもっと意見などを言いやすくなるように、まず自分が意見を言って、流れをつくりたいと思います。そして、私が何事にも積極的にチャレンジをして、少しでも良い空気をつくっていったらいいなと思っています。

このように、この一年間は先ばいたちへ新しい風を送り続けられるようにがんばっていきます。

(1年、田辺岬特派員)

1年生 がんばってます!

気持ち明るくなる座右の銘

必ず壁はある。しかしそれを乗り越えたときに新しい世界が目の前に広がって、さわやかな気持ちになるのだ。

他人から与えられた評価ではなく、自分自身が満足できる足跡を残したい。

植村 直己(うえむら なおみ 1941~1984)

植村 直己は兵庫県出身の冒険家。世界で初めて犬ぞり単独行で北極圏に到達するなど、数多くの実績がある。北米大陸のマッキンリー山にて世界初の厳冬期単独登頂を果たしたが、その翌日、消息不明となった。